

事業概要説明シート

事務事業番号 10201090001

事務事業名	建築協定・まちづくり支援事業		類似事業グループ	21.育成
事業期間	平成2年度～	担当部署	都市整備部 都市整備推進室	
総合計画体系	(施策目標) 美しいまち並みをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	建築基準法 第69条、枚方市建築協定条例
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(住民組織が建築協定の締結や更新等を行う場合にコンサルタントの派遣要望があれば、その内容を審査のうえコンサルタントに委託、派遣支援を行う。)
目的(何のために)	地域の住民が自主的に地域の实情に応じた、きめ細かい‘まちづくり基準(ルール)’をつくることのできるという制度である「建築協定」の締結を促進することにより、良好な住環境と魅力あるまちなみの保全・形成を図る。
対象(誰・何を対象に)	良好な住環境と魅力あるまちなみの形成を目指して建築協定の締結を希望している地区及び既に建築協定を締結している地区の住民・住民組織。
事業内容	建築協定を締結している地区で構成されている「ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会」との連携により、各建築協定地区の運営委員会に対して情報を提供し、意見交換や普及活動等を行い、住民意識の向上を図るため講演会の開催支援を行っている。また、住民組織が建築協定の締結や更新等しようとする際に、コンサルタントの派遣の要望があった場合、その内容を審査した上、コンサルタントの派遣支援を行っている。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪府建築協定地区行政連絡会議(建築協定制度の推進を図ることを目的に大阪府及び大阪府下で建築協定条例を有する市町で構成)
事業の必要性	地域の住民にとって良好な住環境と魅力あるまちなみの形成と持続のため、建築協定の締結及び更新等の支援が必要。

コスト	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.6人	4,744千円	0.52人	4,128千円	0.5人	4,136千円
再任用職員	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円
非常勤職員等	0.0人	千円	0.0人	千円	0.0人	千円
人件費計(A)		4,744千円		4,128千円		4,136千円
直接経費(B)		22千円		41千円		41千円
総事業費(A+B)		4,766千円		4,169千円		4,177千円

財源内訳	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源		4,766千円		4,169千円		4,177千円

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	ひらかた建築協定だより 印刷製本費	21千円
	建築協定冊子等 通信運搬費	20千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10201090001

事務事業名	建築協定・まちづくり支援事業	類似事業グループ	21.育成
事業開始年度	平成2年度 ~	担当部署	都市整備部 都市整備推進室

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 建築協定締結地区数(工業系2地区含)	地区	37	38	39
	② ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会 講演会参加者数	人	30	24	19
	③ 建築協定地区 意見交換会	地区	13	13	13
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷建築協定締結地区数(工業系2地区含)	千円	129	110	107
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会主催の講演会の参加者数において、建築協定締結地区数の8割(平成25年度実績)を目指す。建築協定締結地区の住民をはじめ、建築協定地区以外の市民にも建築協定について普及啓発を行い、良好な住環境と魅力あるまちなみの保全・形成を目指して、年々減少傾向にある参加者数の回復、増加を図る。				
成果目標 達成状況	講演会開催の案内文を各建築協定地区運営委員会へ送付すると共に、広報ひらかたの紙面及び市のホームページへ案内を掲載して周知を図ったが、参加者が少なかった。		目標達成度	目標を下回る	
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	建築協定締結地区数が大阪府下3番目に多い枚方市をはじめ上位4市では、各市の建築協定地区連絡協議会が設立されている。枚方市では「ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会」と連携し、建築協定締結地区間の連絡、調整をはかりながら、同協議会の総会、総会後の講演会、役員会3回、意見交流会1回を実施、また国・府等からの情報も随時提供。平成26年度は、申し出のあった建築協定更新地区の住民に向けて職員の出前講座を実施した。				
事業のPR	今までは、広報ひらかたの紙面や市のホームページへの講演会開催の案内記事掲載に留まっていたが、今後は講演会開催案内文を各建築協定地区の住民へ各戸配付すると共に、地域のコミュニティへ案内して参加者を増やすことで、建築協定によるまちづくりのPRを行う。				
市民満足度	平成25年度に実施した「枚方市市民意識調査」結果では、枚方市の「住みやすさ」を感じる市民が81%、市内に「定住意向」をもつ市民が86.2%あり、枚方市の好きなおとこ・誇れるところの「住宅環境がよい」としたのは17.9%だった。また、「美しいまち並みをつくる」という施策に対して重要度は72.8ポイント、満足度は54.5ポイントという結果になっている。				
特記事項	枚方市内における建築協定地区は、昭和58年に最初の地区を認可後、徐々に増加して平成26年度末には38地区について認可している。また、「ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会」は平成11年1月に結成され、以後、枚方市との連携により、各建築協定地区の運営委員会に対して情報の提供、意見等の交換や普及活動等を行い、住民意識の向上を図るため講演会の開催を行って来た。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	建築協定・まちづくり支援事業における支援策の一つである講演会の開催にあたっては、建築協定地区の住民へ案内文を各戸配付するなど、周知方法について改善の必要がある。
一次評価結果	・参加者が少なく、事業実施に伴う成果が見えない。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		